

競技別実施要項 【軟式野球】

1 期間及び会場 5月25日(土)～6月8日(土)

	期 日	会 場
1・2回戦	5月25日(土)	相模三川公園グラウンド
1・2回戦	6月 1日(土)	境川少年球場
準決・決勝・閉会式	6月 8日(土)	相模原ひばり球場

2 参加資格

- (1) 単位団：令和5年度日本スポーツ少年団に登録している団で、今年度も登録する団。
- (2) 指導者：令和6年度スポーツ少年団登録する指導者で、集団指導の能力に優れ、所属市町スポーツ少年団本部長が推薦する者。
- (3) 団員：令和6年度スポーツ少年団登録をする令和6年4月1日現在小学校6年生以下の団員で、所属市町スポーツ少年団本部長が推薦する者。
- (4) 高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会神奈川県予選会に参加申込みをしている単位団とその構成員の出場は認めない。(要注意)
- (5) 令和6年度スポーツ安全保険（同等の補償のある傷害保険を含む）に加入済みであること。
- (6) 下記大会の全日程に参加できるチームであること。
 - 関東ブロック大会：令和6年7月14日(日)～15日(月)
＜栃木県：宮原野球場、栃木県総合運動公園（宇都宮市）＞
 - 全国交流大会：令和6年8月1日(木)～4日(日) *ブロック予選にて上位2チーム
＜鳥取県：どらドラパーク米子市民球場ほか＞ ※別途参加料徴収 5,000円

3 参加者及びチーム編成

- (1) 引率責任者は登録者（指導者、スタッフ、役員）とする。
- (2) 代表指導者（監督）、指導者（コーチ）は、JSP0公認スポーツ指導者で理念を学んだ指導者とする。
- (3) 団員は、小学校6年生以下 計25名。なお、団員・指導者とも同一の単位団所属であること。

4 参加料 1チーム 11,000円（消費税込み）

5 参加チーム数

各市町本部長から推薦された代表1チーム

横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、秦野市、厚木市、大和市、伊勢原市、座間市、寒川町（15チーム）

6 申込締め切り及び代表者会議

出場チームの代表指導者は必ず出席すること。

- (1) 申込み期限 締切日 令和6年5月 2日(木)
※ 代表チームが決まっていない場合は、大会出場の有無を連絡し、代表者会議に本部代表として、必ず1名は参加させること。
- (2) 代表者会議 日 時 令和6年5月11日(土) 18時15分から
会 場 県立スポーツ会館 2階会議室
住所：横浜市神奈川区三ツ沢西町3-1

7 表 彰

優勝チームには、優勝旗(持ち回り)、賞品(トロフィー)、賞状を授与し表彰する。
準優勝・第3位のチームには賞品(トロフィー)・賞状を授与し表彰する。

8 関東ブロック大会

優秀なチームに神奈川県で開催する関東ブロック大会(全国大会予選会)の推薦を行う。

9 競技ルール

「公認野球規則」及び「公益財団法人全日本軟式野球連盟競技者必携/学童野球に関する事項」による。但し、別に示す「第49回神奈川県スポーツ少年団軟式野球交流大会競技方法及び競技規則等」はこれを適用する。

10 試合球

公益財団法人全日本軟式野球連盟公認J号球を使用する。

11 補 則

- (1)メンバー表の提出については、メンバー表は大会運営本部が用意するのでチームが球場到着の報告の時に受け取ること。
- (2)メンバーの変更は代表者会議の席上まで認める。その後の変更は認めない。
- (3)団員のスポーツ傷害、健康管理に十分注意すること。

12 そ の 他

- (1)本実施要項に定められていない事項が生じた場合は、競技委員協議の上、競技委員長の権限により処理する。
- (2)代表者会議で決められた事項は、団員は勿論のこと、応援の父兄その他の関係者に必ず徹底させること。
- (3)この大会に出場できるチームは「日本スポーツ少年団登録規程」により**令和6年度登録者(指導者・役員・スタッフ及び団員登録を完了)**し、同時に**スポーツ安全保険**(同等の補償のある傷害保険を含む)に加入しているチームであること。

13 個人情報の取り扱いについて

別紙申込書に記載された個人情報は、大会プログラムの記載の他に、本大会の目的達成のために使用します。

第49回神奈川県スポーツ少年団軟式野球交流大会競技方法及び競技規則等

本大会は「公認野球規則」および「公益財団法人全日本軟式野球連盟競技者必携／学童野球に関する事項」、「全国スポーツ少年団軟式野球交流大会運営に関する規定」、競技に関する特別規則を準用し、詳細については下記の通りとする。

1. 規則細則

(1) チーム編成及びベンチに入れる人員について(チーム編成と競技者の背番号は以下に統一する。)

引率指導者 1名

私服(運動のできる服装)とし、登録指導者・役員またはスタッフとする。

代表指導者(監督) 1名 背番号30番とする。

団員(選手)と同一ユニフォームで背番号30番とし、スポーツ少年団の理念を学んだ者に限る。

指導者(コーチ) 2名以内 背番号28・29番とする。

団員(選手)と同一のユニフォームで2名以内とし、背番号29・28番とする。

また、スポーツ少年団の理念を学んだ者に限る。

団員(選手) 25名以内

団員(選手)は、25名以内で背番号0番から99番までとする。

なお、代表団員(主将)は、背番号10番とする。

健康管理スタッフ(熱中症対策スタッフ)

私服(運動の出来る服装)とし、2名以内のベンチ入りを認める。

保護者がベンチに入ることを認める。

なお、ベンチに入る場合は大会運営本部へ申請を行い、発行されたパスを携帯すること。

スコアラー(団員以外)

私服(運動の出来る服装)とし、1名のベンチ入りを認める。

ただし、シートノックやマネージャー行為など、記録に関すること以外の行為は認めない。

(2) 用具、装具等及び禁止事項について

- 1) 打者用ヘルメットは、S・Gマークのついた全日本軟式野球連盟公認のものを7個以上用意し、打者、次打者、走者及び走塁指導者(ベースコーチ)は、全員両側にイヤーフラップの付いたものを着用すること。
- 2) 捕手は捕手用ヘルメットを着用すること。(捕手用ヘルメットはマスクが分離したものを使用) また、プロテクター、レガース、ファウルカップを着用すること。
- 3) バットは、全日本軟式野球連盟公認(JSBBマーク入り)の物を使用すること。なお、木製については公認制度を適用しない。
- 4) 素振り用の鉄棒(鉄パイプを含む)、バットリングは使用してはならない。
- 5) 同一チームの代表指導者(監督)、指導者(コーチ)、団員(選手)は、同色、同形、同意匠のユニフォーム・アンダーシャツ・ストッキング・帽子を着用すること。
- 6) 金属スパイクの使用を禁止する。

(3) 応援団等のマナーについて

- 1) 球場での道具(大太鼓、トランペット等)を使用しての応援は一切禁止する。
- 2) 投手が投球動作に入ったら、応援はやめること。
- 3) 自チーム及び相手チームの団員(選手)・審判員に対する野次・ブーイングは、行わないこと。
- 4) その他、目に余る応援・試合進行の妨げになる応援・近隣住宅の迷惑となる応援等については大会本部及び審判より厳重注意を行います。

2. 競技運営に関する取決め事項

- (1) その日の第1試合のチームは、試合開始予定時刻の30分前までに、大会運営本部が用意する打順表（登録された者の全員を記入したもの）1部（6枚複写）を持って代表指導者（監督）と代表団員（主将）と一緒に本部へ提出し登録メンバーの照合を受けて攻守の決定を行う。打順表へは出場する選手全員を記載しフリガナをつけること。
- (2) 第2試合以降のチームは、前の試合開始1時間経過直後、または、4回終了時まで打順表を監督と主将が大会運営本部に提出し、登録原簿と照合し球審立ち合いのもと攻守を決定する。
- (3) 試合開始予定時間前でも、前の試合が早く終了した場合、次の試合開始を早める場合がある。
- (4) 試合開始時刻になっても会場に来ないチームは、原則として棄権とみなす。
- (5) 試合前のシートノックは5分間とする。ノッカーも選手と同一のユニフォームを必ず着用し、また捕手はプロテクター・レガース・ヘルメット、ファウルカップを必ず着用すること。なお、大会運営の関係でシートノックを行わないこともある。なお、シートノック時の補助員はヘルメットを着用すること。
- (6) 次の試合のバッテリーが、球場内のブルペンで4回終了後使用することができる。
また、球場内でのフリーバッティング（ハーフバッティング含む）は認めない。
球場内ではトスバッティングのみ認める。
- (7) その日の第1試合に出場チームは、外野に限り練習してもよい。
- (8) ベンチ内での携帯電話、携帯マイクの使用を禁止する。ただし、メガホンは1個に限り使用を認める。
- (9) 攻守交代時で最後のボール保持者は、投手板にボールを置いてベンチに戻ることに。
- (10) 試合中、代表指導者（監督）はグラウンドに入って指示を与えること。
- (11) 試合のスピード化に関する事項
 - ① 試合の進行状況によっては、タイムを制限することもある。
 - ② 投手の準備投球数は球審の指示により行うこと。
 - ③ 攻守交代は駆け足で行うこと。また、監督のマウンドへの行き帰りは小走りで行うこと。
 - ④ 投手は、必ず投手板について捕手のサインを見ること。
 - ⑤ 次打者は、必ず次打者席へ入り、投手が投球姿勢に入ったら素振りをしてはならない。
 - ⑥ 打者は、みだりにバッターボックスを外さないこと。サインもボックス内でみること。
 - ⑦ 内野手間のボール回しを制限することがある。
 - ⑧ 代打、代走の通告は氏名と共に「代打者」「代走者」の背番号を球審に見せて行うこと。
- (12) その他
 - ① ファウルボールの処理については、両チーム選手が行うこと。
ベンチ前から外野方向へのボールは両ベンチのチーム選手が処理し、また、バックネット前のボールは攻撃チームの選手が処理しボールボーイ（ガール）に返すこと。
 - ② 小雨の場合、日程の都合上、球場が使用可能な状態の場合は試合を行うことがある。
 - ③ 雨天の際の連絡等について
 - ア. 試合不可能な場合は大会運営本部からチームに連絡をする。
 - イ. 当日試合を全く行わない場合と、午前中見合わせて午後から行う場合があるので、大会運営本部からの連絡等について注意すること。

3. 競技に関する特別規則

- (1) 本大会の試合は、6回戦とする。ただし、試合開始後1時間30分経過以降は、均等回完了をもって試合終了とする。同点の場合は（4）に定めるタイブレーク方式を行う。
- (2) 本大会の試合については、暗黒、降雨などで6回までイニングが進まなくとも5回を終了すれば試合成立とする。
- (3) 交流試合についても同様に上記（1）を適用するが、最終回において同点となった場合は（4）に定めるタイブレーク方式は行わず引き分けとする。
- (4) 本大会において6回を完了し同点の場合、または試合開始後1時間30分経過以降の均等回完了時に

同点の場合は、次のイニングからタイブレーク方式に入る。

タイブレーク方式は、継続打順で、前回の最終打者を1塁走者その前の打者を2塁の走者とする。すなわち0アウト・二塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。

- (5) タイブレーク方式は、投手の投球制限（下記(9)参照）を遵守の上、勝敗が決するまで行う。
- (6) 5回終了以前に降雨、日没等で試合続行が困難となった場合は、継続試合・特別継続試合・大会中止の判断は本部の指示によるものとする。
- ① 継続試合とは、その日中に他の球場で試合を続行すること。
 - ② 特別継続試合とは、その日の最終試合が試合続行できず、翌日の第1試合に先立って試合を続行すること。
 - ③ 大会中止とは、予定している日程で大会が行えなくなった場合。
- (7) 得点差のコールドゲームは採用しない。
- (8) 原則として、ダブルヘッター（同一日2試合）を行わない。ただし、降雨等により大会運営上やむを得ない場合2試合行うことがある。
- (9) 投手の投球数制限については、健康維持を考慮し、1日70球以内（4年生以下は60球以内）とする。ただし、打撃中に投球制限数に達した場合は、その打者の打撃が完了するか攻守交代までとする。また、投手のイニング制限については、1日6イニングまでとする。（但し、延長戦の場合は除く）
投球イニングに端数が生じたときの取り扱いは3の1(アウト1)未満であっても、1イニング投球したものとして数える。
- (10) 抗議のできる者は、代表指導者(監督)または、当事者でなければならない。
- (11) 代表指導者(監督)または指導者(コーチ)が、投手のところへ行く回数の制限
- ① 代表指導者(監督)または指導者(コーチ)が、同一イニングに同一投手の所へ2度行くか、行ったとみなされた場合は、投手は自動的に交代しなければならない。ただし、交代した投手が、他の守備位置につくことは許されるが、同一イニングには再び投手には戻れない。
 - ② 捕手または内野手が、1試合に投手の所へ行ける回数を3度以内とする。
特別延長戦となった場合は、2イニングに1度行くことができる。
- (12) 投手は、変化球を投げることを禁止する。投げた場合はペナルティを課す。
- (13) 守備の時間が長い場合（概ね20分）には健康維持を考慮し、審判員の判断で給水タイムを設けることとする（試合時間には入れない）。

4. その他

本競技規則及び取決め事項によらない事項が生じた場合の対応については、主催団体間で協議し、決定するものとする。

競技別実施要項【ミニバスケットボール】

1 期日・会場 令和6年6月9日(日)～7月7日(日)

	期日	会場
男女：1・2回戦 男女：3回戦・準々決勝	6月9日(日)	寒川アリーナ(2)
	6月15日(土)	予備日(会場調整中)
	6月16日(日)	予備日(会場調整中)
	6月22日(土)	海老名総合体育館(3)
	6月23日(日)	寒川アリーナ(2)、綾瀬市民スポーツセンター(2)
	6月29日(土)	予備(会場調整中)
男女：代表選考会	7月7日(日)	秩父宮記念体育館(1)

※状況に応じて、会場等が変更になる場合もあります。予めご承知おきください。

2 参加資格

- (1) 単位団：令和5年度日本スポーツ少年団に登録している団で、今年度も登録する団。
- (2) 指導者：令和6年度スポーツ少年団登録をしている指導者で、集団指導の能力に優れ、所属市町スポーツ少年団本部長が推薦する者
- (3) 団員：令和6年度スポーツ少年団登録をしている令和6年4月1日現在小学校6年生以下の団員で、所属市町スポーツ少年団本部長が推薦する者。
- (4) 令和6年度スポーツ安全保険(同等の補償のある傷害保険を含む)に加入済みであること。
- (5) 下記大会の全日程に参加できるチームであること。
 ○関東ブロック大会：令和6年7月26日(金)～28日(日)＜栃木県＞
 総合開会式：総合運動公園：日環アリーナ栃木(宇都宮市)
 交流大会：総合運動公園：日環アリーナ栃木(宇都宮市)

3 参加者及びチーム編成

- ベンチに入れる人員は、試合前の練習、試合中ともに次のとおりとする。
- (1) 団員(選手)は、小学校6年生以下 計15名以内とし、登録団員に限る。
 なお、団員・指導者とも同一の単位団所属であること。
 - (2) 引率責任者(監督・コーチ・スコアラーなど)、指導者(監督・コーチ)は4名以内とし、登録者であること。
 - (4) 指導者(監督・コーチ)はJSPD公認指導者若しくはJBA指導者で理念を学んだ者に限る。

4 参加料 1チーム 5,500円(消費税込み)

5 申込締め切り及び代表者会議

* 出場チームの代表指導者は必ず出席すること。

- (1) 申込み期限 締切日 令和6年5月8日(水)
- (2) 代表者会議 日時 令和6年5月25日(土) 18時00分から
 会場 秋葉台文化体育館 大会議室
 所在地 藤沢市遠藤2000番地の1

6 競技規則及び方法

- (1) ルールは、JBA発行の2023バスケットボール競技規則及び2021年度ミニバスケットボール競技規則の取り扱いによる。
- (2) ゲーム形式は男女ともトーナメント方式による。※参加チーム数状況によってはリーグ形式を取り入れる。
- (3) 審判は帯同審判制とする(審判・マンツーマンコミッショナーを各チームで用意してください)。
- (4) 第3位決定戦は行わない。
- (5) 試合球は、(株)モルテン製5号認定球(人工皮革)を使用する。
- (6) 服装は濃淡2色とし、胸と背に番号をつける。

7 表彰

優勝チームには、優勝杯(持ち回り)、賞品(トロフィー)、賞状を授与し表彰する。
 準優勝・第3位のチームには賞品(トロフィー)、賞状を授与し表彰する。

8 関東ブロック大会

優秀なチームに関東ブロック交流大会への推薦を行う。

9 その他

- (1) 出場チームは毎試合単位団旗を持参すること。
- (2) 出場チーム申込み後の取り消しは認めない。(エントリー変更は、初戦の前とし登録者に限る。)
- (3) 上記の日程に参加できること。

※学校行事と重なった場合、初戦のみ日程を考慮する。(申込書に記入のこと。)

※他の大会と日程が重なった場合については、調整しない。

競技別実施要項【空手道(関東予選)】

- 1 期日 令和6年6月1日(土) 開会式：9時30分 試合開始：10時～
- 2 会場 シンコースポーツ神奈川県立武道館<柔道場>
住所：横浜市港北区岸根町725 交通：市営地下鉄岸根公園駅下車徒歩3分
- 3 参加資格
 - (1) 単位団：令和5年度日本スポーツ少年団に登録している団で、今年度も登録する団。
 - (2) 指導者：令和6年度スポーツ少年団登録し、集団指導の能力に優れ、所属市町スポーツ少年団本部長が推薦する者。
 - (3) 団員：令和6年度スポーツ少年団登録し、令和6年4月1日現在小学校6年生以下の団員で、所属市町スポーツ少年団本部長が推薦する者。
 - (4) 令和6年度スポーツ安全保険(同等の補償のある傷害保険を含む)に加入済みであること。
 - (5) 後述9記載の関東ブロック大会の全日程に参加できること。
- 4 参加者及びチーム編成
 - (1) 引率責任者は登録者(指導者、スタッフ、役員)とする。
 - (2) 代表指導者(監督)、指導者(コーチ)は、JSP0公認スポーツ指導者で理念を学んだ者とする。
 - (3) 団員は小学校6年生以下であること。※ 団員・指導者とも同一の単位団所属であること。
- 5 参加料 2,200円(消費税込み：1種目参加) 4,400円(消費税込み：2種目参加)
- 6 申込締め切り及び代表者会議
 - (1) 申込み期限 締切日 令和6年4月26日(金)
 - (2) 代表者会議 集計後、別途調整の上各参加団体に御連絡致します。
- 7 競技規則及び方法
 - (1) 各単位団からの出場は、幼年、小学生各学年、男・女とします。
 - (2) 選手は令和6年度の学年とし、同学年の団員しか出場できません。
 - (3) 競技種目について

【個人形の部】

- 予選… 幼年、小学1～3年生 フラッグ制、4年生～6年生 得点制
決勝トーナメント進出数は参加人数により決定します(細目あり)。
全学年においてピンアン、平安、ゲキサイいずれかの全空連基本形(以下「基本形」とします)。
2名同時演武、ななめ入場。エントリーナンバーの早い選手を赤とし、4～6年生は演武後赤→青の順で得点を付けていきます。
- 決勝トーナメント…組み合わせは予選通過の順位により決定します(細目あり)。
学年を問わずフラッグ制にて2名同時演武とします。3位決定戦と決勝戦は1名ずつの演武とします。

幼年 ～小学3年	<ul style="list-style-type: none"> ● 予選の形を繰り返し行ってもよいし、回戦毎に変えてもよい。 ● 準決勝以降は得意形(全空連競技規定リストにある形)でもよい。 ※ 「基本形」1つ、知っていれば出場可能
小学4年 ～小学6年	<ul style="list-style-type: none"> ● 予選の形を繰り返し行ってもよいし、回戦毎に変えてもよい。 ● 準々決勝までは基本形、第一または第二指定形(以下「指定形」とする)とする。 ● 準々決勝戦までは同一形を繰り返し行ってもよい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 準決勝戦は、指定形とする。今まで使用した指定形でもよい。 ・ 出場順決定戦と決勝戦は得意形(全空連競技規定リストにある形)とする。準決勝で使用した形以外とする。 ・ 決勝戦と準決勝は同じ形を演武してはいけない。 ・ 出場順決定戦と準決勝は同じ形を演武してはいけない。 ※ 「基本形」から1つ、「指定形」から1つ、「指定形+得意形」から1つ、計3つの形を知っていれば出場可能 本年度関東ブロック大会本戦出場者選出のため

【個人組手の部】

- (1) 各単位団からの出場は、幼年、小学生各学年、男・女とします。
- (2) 各学年男女それぞれ個人トーナメントにて行います。但し、小学3年生までで参加人数が少数であった場合は男女合わせて行うこともあります。
- (3) 競技は(公財)全日本空手道連盟競技規定に準じて行い、

幼年～3年生 1分 フルタイム 4ポイント差
4年生～6年生 1分30秒 フルタイム 6ポイント差 で勝ちとします。

- (4) その他の詳細は、別紙「細目」の通りとします。

【その他事項】

- (1) 小学4～6年生男女の優勝者及び準優勝者は、関東ブロック大会(以下「本戦」)出場資格(1種目：2名)が与えられます。
- (2) 予選会は形・組手重複しての参加を可能とします。但し、本戦の重複参加はできません。形・組手共に優勝した場合、どちらか本人の希望する種目に参加となります。その場合、選ばなかった方の種目の代表選手は順位と共に繰り下がって選出となります。
- (3) 小学4～6年生は3位まで決定の上、3位該当選手で出場順の決定戦を行います。優勝又は準優勝者が本戦出場を辞退した場合は順に繰り上げ選手となります。それでも代表選手が決定しなかった場合、形は予選の得点順に代表権を得ます。
- (4) 本戦は形、組手とも団体戦として行われます。1都県男女(先鋒：4年生、中堅：5年生、大将：6年生)各2チームで試合を行います。大会日においてケガ及び傷病等により欠場選手が発生した場合は、あらかじめ別の種目よりそれぞれの学年から1名を補欠登録し、変更エントリーは登録選手のみとします。
- (5) 本戦における規定の変更等は別途案内致します。
- (6) **申し込みはデータで送信のこと。申込書データが必要な場合は下記へ申し出ください。**

8 表彰

優勝・準優勝・第3位(2名)、敢闘賞に賞状を授与し表彰します。

9 関東ブロック大会出場<小学4年生～小学6年生>

7【その他事項】に基づき、下記の関東ブロック大会への推薦を行います。

関東ブロック大会：令和6年7月26日(金)～28日(日)<栃木県>

総合開会式：総合運動公園：日環アリーナ栃木(宇都宮市)

交流大会：栃木県立県南体育館(小山市)

10 その他

- (1) 当予選会に出場する団員は健康保険証又はそのコピーを持参してください。傷害時は応急手当のみ行います。
- (2) 予選会実施に際しては審判員・大会役員及び協力役員のご協力をお願いいたします。
- (3) 競技終了後、神奈川県代表選手及び、代表指導者による神奈川県選手団結団式を行います。
- (4) 終了後、全員で会場清掃を行いますのでご協力をお願いします。

*大会について問合せ・・・(携帯：090-8461-5668 メール：kanagawa.sposho.karate@gmail.com 山下尚晃)

第43回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会における経費負担について

令和6年度の大会は、栃木県にて7月26日(総合開会式)、27日～28日(交流大会)が開催されます。

出場選手・指導者は各出場競技種目日程に出場していただきます。出場経費は大会分担金として県本部が負担いたしますが、往復交通費と、宿泊滞在費などは、自己負担となりますのでご了承ください。

第14回神奈川県スポーツ少年団空手道競技大会 兼
第43回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会空手道競技会神奈川県予選会
開催要項(令和6年度)

競技細則

開催要項に定める以外は、この細目による。

【個人形の部】<小学4年生～小学6年生>

(1) 予選の実施

参加者が3名以下の場合、予選点数にて順位を決定する。

点数制で予選を実施する。決勝進出者は、以下の通りとする。

- ① 4名以下 2名
- ② 7名以上15名 4名
- ③ 16名以上 8名

(2) 予選での順位決定

必ず(1)の人数で決定するために以下の通り順位を決定する

- ① 5名の審判員の内、最高点と最低点を切り捨てた合計点とする。
- ② ①でも同点の場合は、残った点数のうち、最低点を加える。
- ③ ②でも同点の場合は、残った点数の最高点を加える
- ④ ③でも同点の場合は、切り捨てた点数の最低点を加える
- ⑤ ④でも同点の場合は、切り捨てた点数の最高点を加える
- ⑥ それでも同点の場合は、再演武とする

※再演武について

同点者が2名の場合は赤青フラッグとする。

同点者が3名以上の場合は得点制とする。

形は予選で使用できる形とする。今まで、使った形を使用しても良い。

(3) 決勝トーナメント

トーナメント(フラッグ制)で行い、以下のとおり組み合わせる。

- ① 4名の場合 予選：1コート 1位と4位 2位と3位
予選：2コート 1コートの1位と他のコートの2位
- ② 8名の場合 予選：1コート 1位と8位 2位と7位 3位と6位 4位と5位
予選：2コート 1コートの1位と他のコートの4位
1コートの2位と他のコートの3位

【個人組手の部】

(1) 拳サポーター

全空連指定の赤・青リバーシブル、または赤・青グローブ型とする。

(本戦は、赤青グローブ型の拳サポーターとなる)

(2) 安全具

- ・メンホー
- ・ボディープロテクター着用(中着けを原則とするが外着けも可とする。)
- ・シンガード、インステップガード ※必須
- ・小学4年生以上の男子は、セーフティカップを着用(それ以下の学年は任意とする)。

※ 赤青のMY帯使用は任意とする。

(本戦は形、組手選手とも黒帯、色帯ではなく、赤青MY帯を着用する事。)

競技別実施要項【空手道(県内交流大会)】

- 1 期日 令和6年12月14日(土) 開会式：9時30分 試合開始：10時～
- 2 会場 シンコースポーツ神奈川県立武道館<柔道場>
住所：横浜市港北区岸根町725 交通：市営地下鉄岸根公園駅下車徒歩3分
- 3 参加資格
(1) 単位団：令和5年度日本スポーツ少年団に登録している団で、今年度も登録する団。
(2) 指導者：令和6年度スポーツ少年団登録し、集団指導の能力に優れ、所属市町スポーツ少年団本部長が推薦する者。
(3) 団員：令和6年度スポーツ少年団登録し、令和6年4月1日現在小学校6年生以下の団員で、所属市町スポーツ少年団本部長が推薦する者。
(4) 令和6年度スポーツ安全保険(同等の補償のある傷害保険を含む)に加入済みであること。
- 4 参加者及びチーム編成
(1) 引率責任者は登録者(指導者、スタッフ、役員)とする。
(2) 代表指導者(監督)、指導者(コーチ)は、JSP0公認スポーツ指導者で理念を学んだ者とする。
(3) 団員は中学生以下とし、団員・指導者とも同一の単位団所属であることを条件とする。
- 5 参加料
個人「形」：2,200円(消費税込み) 個人「組手」：2,200円(消費税込み)
個人形と組手両方出場の場合は：4,400(消費税込み)
- 6 申込締め切り及び代表者会議
(1) 申込み期限 締切日 令和6年10月31日(木)
(2) 代表者会議 集計後、別途調整の上各参加団体に御連絡致します。
- 7 競技規則及び方法

【個人「形」の部】

カテゴリーは以下の①～⑯とします。

①自由演武

②幼年 3級以上

③幼年 6級～4級

④幼年 10級～7級

⑤小学1～2年生 3級以上

⑥小学1～2年生 6級～4級

⑦小学1～2年生 10級～7級

⑧小学3～4年生 3級以上

⑨小学3～4年生 6級～4級

⑩小学3～4年生 10級～7級

⑪小学5～6年生 3級以上

⑫小学5～6年生 6級～4級

⑬小学5～6年生 10級～7級

⑭中学生 3級以上

⑮中学生 6級～4級

⑯中学生 10級～7級

※参加人数が少数の場合、種目を合わせることもあります。

○ ①の自由演武は形をまだ覚えていない選手が行う事とします。

各道場で練習している「その場の突き」「前蹴り 左右」を号令をかけて行います。

○ ②～⑯の個人形は準決勝まではピンアン、平安、ゲキサイいずれかの「全空連の基本形」(以下、「基本形」とします。

準決勝からは全空連得意形(含指定形)に変更してもよいし、変更しなくてもよいです。

選手数が4名以下の場合でも、第1回戦は「基本形」を演武するものとします。

【個人「組手」の部】

カテゴリーは以下の②～⑬とします。

- | | | |
|---------------|----------------|-----------------|
| ②幼年 3級以上 | ③幼年 6級～4級 | ④幼年 10級～7級 |
| ⑤小学1～2年生 3級以上 | ⑥小学1～2年生 6級～4級 | ⑦小学1～2年生 10級～7級 |
| ⑧小学3～4年生 3級以上 | ⑨小学3～4年生 6級～4級 | ⑩小学3～4年生 10級～7級 |
| ⑪小学5～6年生 3級以上 | ⑫小学5～6年生 6級～4級 | ⑬小学5～6年生 10級～7級 |
| ⑭中学生 3級以上 | ⑮中学生 6級～4級 | ⑯中学生 10級～7級 |

※参加人数が少数の場合、種目を合わせることもあります。

○競技は(公財)全日本空手道連盟(組手競技規定)に準じて行い、カデットルールを適用し安全面を最重要視します。

時間は1分フルタイムとし、4ポイント差を勝ちとします。

○拳サポーター(JKF指定赤・青リバーシブル、中学生以上は赤青グローブ型)、メンホー、ボディープロテクター、セーフティカップ(小学4年生以上男子)、シンガード、インステップガードは必須とします。

○その他ルールの詳細は、代表者会議において審判監督会議資料とし協議決定します。

8 個人情報の取り扱いについて

別紙申込書に記載された個人情報は、大会プログラムの記載の他、本大会の目的達成の為のみに使用します。

9 その他

① 変更点につきましては、執行部内話し合いで決定致しました。

*団体戦については、今後の状況により代表者会議にて検討するものとします。

② 競技に出場する団員は健康保険証又はそのコピーを持参してください。

尚、傷害の際は応急手当のみ行います。

③ 大会運営に際しては審判員及び大会役員・協力役員のご協力をお願いいたします。

④ 駐車場はありませんので、車での来館はご遠慮ください。

⑤ 入館時間については、別途ご案内致します。

⑥ ゴミは各自持ち帰り処理してください。また競技終了後、参加者全員で後片付け・会場清掃を行いますのでご協力ください。

⑦ 申し込みはデータで送信願います。申込書データが必要な場合は下記へお申し出ください。

*大会について問合せ・・・携帯：090-8461-5668 アドレス：kanagawa.sposho.karate@gmail.com 山下尚晃

競技別実施要項

【剣道】

1. 大会名 第50回神奈川県スポーツ少年団剣道交流大会
兼第47回全国スポーツ少年団剣道交流大会神奈川県予選会
2. 日程 令和6年12月7日(土) 開会式：9時30分(予定)
3. 会場 シンコーススポーツ神奈川県立武道館<剣道場>
住所：横浜市港北区岸根町725 交通：市営地下鉄岸根公園駅下車徒歩3分

4. 参加資格

- (1) 単位団 令和5年度日本スポーツ少年団に登録している団で、今年度も登録する団。
- (2) 指導者 令和6年度スポーツ少年団登録し、集団指導の能力に優れ、所属市町スポーツ少年団本部長が推薦する者。
- (3) 団員 ① 令和6年度にスポーツ少年団登録をしている団員であること。
② 令和6年4月1日現在、小学校4年生から中学3年生までの団員であること。
③ 所属市町スポーツ少年団本部長が推薦する団員であること。
- (4) 令和6年度にスポーツ安全保険に加入済みであること。
(スポーツ安全保険と同等の補償のある傷害保険に加入済みであること。)
- (5) 次に示す大会の全日程に参加できること。

全国大会 日程：令和7年3月28日(金)～30日(日) 会場：レゾナック武道スポーツセンター

※ 全国交流大会出場チームは別途参加料徴収 5,000円

5. 参加者及びチーム編成

- (1) 引率責任者は登録者(指導者、役員、スタッフ)とする。
- (2) 代表指導者(監督)、指導者(コーチ)は、JSPO公認スポーツ指導者で理念を学んだ者とする。
- (3) 団体戦の出場チームは、指導者(監督)1名、団員(小学生)5名の計6名とする。

原則、単位で選抜したチームであり、チーム編成は、次のとおりとする。

区分	1	2	3	4	5	指導者 (監督)
	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	
学年	4年生	5・6年生	5・6年生	5・6年生	5・6年生	理念を学んだ指導者
性別	問わない	女子	男子	女子	男子	問わない

※ 小学4年生が2～5の区分に出場できるが、性別は、上記の編成通り以外は、認めない。

※ 単位団で編成できない場合は、同一市町の単位団と合同で出場することができる。

8. 試合方法

公益財団法人全日本剣道連盟剣道試合・審判規則及び細則並びに全日本剣道連盟「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」、本大会要項及び本大会実施要領、全国スポーツ少年団剣道試合申し合わせ事項にしたがって行います。団体戦及び個人戦ともにトーナメント方式により行います。

【団体戦】

試合は、3本勝負とし、試合時間は、2分とします。試合時間内に勝敗が決しない場合は、引き分けとします。

勝者数、総本数が同数の場合は、最後に引き分けた選手による代表者戦で勝敗を決します。

代表者戦は、1本勝負とし、試合時間は、2分とします。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を2分ごとに区切って勝敗の決するまで行います。なお、延長戦は、3回(6分間)ごとに休憩を入れます。

【個人戦】

試合は、3本勝負とし、試合時間は、2分とします。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を2分ごとに区切って勝敗の決するまで行います。なお、延長戦は、3回(6分間)ごとに休憩を入れます。

9. 参加費

個人戦 1名 1,100円(消費税込) 団体戦 1チーム 5,500円(消費税込)

※ 各市町スポーツ少年団に直接お支払いください。

※ 申し込み後の参加費の返金はありません。

10. 申込締切

令和6年9月27日(金)

※ 各市町スポーツ少年団に直接申し込みをしてください。

※ また、大会申込書データ(エクセルシートにて)を大会実行委員会 渡部委員長あて
watabe@akatsuki-home.co.jp 送信をお願いします。

11. 代表者会議 ※申込代表者へメールにて連絡と致します。

出場単位団から1名を出席させること。

なお、諸事情により出席者がいない場合は、委任状を提出すること。

※ 別途、会議日と場所を設定し、各市町スポーツ少年団を通じてお知らせいたします。

(1) 代表者会議には、出場チームの指導者または代理の者が必ず出席すること。

(2) 代表者会議に参加できない場合は、委任状を提出する。

(3) 代表者会議での決定事項は、出場団体に周知徹底を図ること。

(4) 代表者会議では、次のことを行う。

① 出場団体、出場選手の確認

② 大会運営方法の確認

③ 組み合わせ抽選：個人戦は、主管者にて行う。団体戦は、代表者会議で抽選する。

④ その他、大会運営に必要な事項

12. 表彰

【個人戦】優勝・準優勝・第3位には、賞状・賞品を授与する。

【団体戦】優勝チームには、賞状・賞品を授与する。

準優勝・第3位のチームには、賞状を授与する。

13. 全国大会について

団体戦及び個人戦の優勝者は、令和7年3月28日(金)～30日(日)に大分県で行われる
第47回全国スポーツ少年団剣道交流大会へ神奈川県代表として推薦する。

14. その他

- ・面マスクとマウスシールドの着用については、公益財団法人全日本剣道連盟並びに神奈川県剣道連盟の通知にしたがいます。通知にしたがって着用をお願いします。
- ・審判員、試合場係員、競技役員のご協力をお願いいたします。
- ・申込締切日以降の選手変更は、原則として認めません。
なお、特別な事情がある場合のみ代表者会議日までに申請があったものについては認めます。
- ・ごみは各自で持ち帰ってください。
- ・大会終了後の後片付けや清掃にご協力ください。
- ・大会出場する団体は、大会申込書データ(エクセルシート)、別紙「神奈川県スポーツ少年団剣道交流大会参加役員調査用紙」、を大会実行委員会 渡部委員長へ送信ください。

大会実行委員会 渡部 watabe@akatsuki-home.co.jp

第 50 回神奈川県スポーツ少年団剣道交流大会兼
兼第 47 回全国スポーツ少年団剣道交流大会神奈川県予選会
協力役員調査

※ 9月27日までに、watabe@akatsuki-home.co.jp あてに送信してください。

大会参加するにあたり、次のとおり回答します。

団体名	
代表者氏名	
担当者	
担当連絡先(携帯)	
担当連絡先(メール)	

審判員		
氏名	称号段位	年齢

試合場係員 氏名				
1.	2.	3.	4.	5.

競技別実施要項 【サッカー(第7回あすなろ杯)】

- 1 期 日 令和7年2月8日(土)～3月中旬(予算ブロック、決勝ブロック)
- 2 会 場 神奈川県立スポーツセンターほか
実行委員会において、予算会場、組み合わせなどについて決定する。
- 3 参加資格
 - (1) 単位団 令和5年度日本スポーツ少年団に登録している団で、今年度も登録する団。
 - (2) 指導者 令和6年度スポーツ少年団登録し、集団指導の能力に優れ、所属市町スポーツ少年団本部長が推薦する者。
 - (3) 団 員 令和6年度スポーツ少年団登録し、令和6年4月1日現在、小学5年生以下で、所属市町スポーツ少年団本部長が推薦する団員であること。
 - (4) 令和6年度にスポーツ安全保険に加入済みであること。
(スポーツ安全保険と同等の補償のある傷害保険に加入済みであること。)
- 4 参加者及びチーム編成
 - (1) 引率責任者は登録者(指導者、役員、スタッフ)とする。
 - (2) 代表指導者(監督)、指導者(コーチ)は、JSP0公認スポーツ指導者で理念を学んだ者とする。
 - (3) 団員は小学校5年生。(但し、5年生が8名に満たない場合は、4年生以下の団員参加を認める。
また、5年生が17名以上いる場合は、同一チームから2チーム参加ができることとする。)
- 5 参加料
1チーム 5,500円(消費税込み) 2チームの場合は 11,000円(消費税込み)
- 6 申込締切および実行委員
 - (1) 申込期限 令和6年5月11日(土)
 - (2) 実行委員会(代表者会議)
日時 令和6年6月15日(土) 18時30分～21時
会場 かながわ県民センター 306会議室
住所:横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2
- 7 表 彰 優勝から第4位までに賞状及び記念品を授与する。
- 8 競技方法
3～4チームによる予選リーグを行い、予選の順位により、決勝リーグと順位別を行う。
リーグ戦は、勝ち点の多いチームを上位とする。
・勝(3)、分(1)負(0)、不戦勝(3)、不戦敗(-1)とする。
・棄権または、試合時間に遅れた場合、選手数の不足により試合ができない場合は不戦敗とし、相手チームに勝ち点3を与える。スコアは(3-0)とし、不戦敗のチームの勝点は-1とする。
・勝点と同じ場合は、①得失点差 ②総得点数 ③該当間成績 ④抽選で順位を決定する。
- 9 競技規則
大会実施年度の(公財)日本サッカー協会競技規則(8人制サッカー競技規則)による。一部リーグ戦用として以下の規定を定める。
 - ① ピッチサイズは68m×50mを基本とする。ただし、会場の事情に応じて近いサイズで設定してよい。ゴールは少年用を使用する。
 - ② 試合時間は15分ハーフとする。ハーフタイムは5分とする。
 - ③ 選手は5年生以下とし、女子の参加を認める。
 - ④ 試合開始時に8名に満たない場合、また、試合時間に遅れた場合は不戦勝とする。試合中5人になった場合は負けとする。(不戦敗と同様)
 - ⑤ 登録選手は、ハーフの15分間、必ず出場すること。(ケガなどの不測の事態を除き)
ただし、17名以上の場合はこの限りではない。

- ⑥ 交代は交代ゾーンより自由におこない、交代人数・回数は制限しない。(GKの交代は、主審の許可を得ること。)但し、競技者が負傷している場合は、主審の承諾を得たうえでどこからフィールドを離れてもよい。一度退いた選手が再び出場することができる。
- ⑦ メンバー表・交代票は使用しない。
- ⑧ 競技者が退場を命じられた場合は、交代要員の中から補充できる。
- ⑨ 選手の警告・退場はその試合のみとし、累積しない。
- ⑩ ベンチスタッフが警告を受けた場合は、その試合のみとし、累積はしない。
- ⑪ ベンチスタッフが退場を命じられた場合は、次の試合はベンチ入り不可とする。
- ⑫ 試合球は4号検定球としチーム持ち寄りとする。
- ⑬ ユニホームは色の違う征服着用よし、重なった場合はトスで決定する。
- ⑭ ベンチはリーグ表の上のチームが、グラウンドに向かって左側とする。ベンチに入れる指導者は3名までとし、内1名はJSP0公認指導者若しくはJFA C級コーチで理念を学んだ指導者とする。
- ⑮ フリーキックは7mとする。
- ⑯ ペナルティーキックは8mとする。
- ⑰ 荒天のため試合途中で中止する場合、前半終了の場合は成立とする。前半途中の場合は継続試合とする。

10 審判

- ◆審判は、2人制で行う。(決勝・順位別リーグは、可能な限り、3人制で行う。)試合前に必ず打合せを行うこと。
- ◆チームは公認審判員を帯同すること。審判割り当てに従い、審判服を着用して行う。

11 留意事項

- ◆事故のないよう十分注意し、事故発生の際はチームの責任者において処理する。
- ◆選手の把握には細心の注意をし、健康管理及び競技などに支障のないようにする。
- ◆グラウンド内、校内は禁煙です。指定の喫煙場所をお願いします。
- ◆ゴミは持ち帰ってください。
- ◆車の台数は、会場責任者の指示に従う。
- ◆路上駐車は厳禁です。近隣に迷惑がかかります。マナーを守りましょう。

12 会場責任者

- ① 試合日程表及び審判割り当てを作成し、各チーム及び実行委員長に連絡する。
- ② 会場の用具準備及び設営と当日の試合日程表の掲示を行う。サッカーゴールは必ず転倒防止の処置を講じる。
- ③ 雨・雪等の荒天の場合、実施できるかの判断を行い、中止の場合は、実行委員長および各チームに連絡する。第1試合の2時間前には決定する。
- ④ 会場に到着したチームに、会場説明と注意事項を伝達する。
- ⑤ 競技中の天候の判断は、審判員とチーム責任者と相談し、要項に沿って決定する。
- ⑥ 試合結果の集計と確認を行い、実行委員長に結果を報告する。
- ⑦ 負傷者の対応と処置(救急車の手配等)
- ⑧ 会場の片づけと清掃。

◎問合せ先 荻野S C植竹(あすなろ杯実行委員長)
(※次期実行委員長は、第1回実行員会で決めます。)

◆役割輪番

役割	2017～2021 ﾌﾟﾚ～第4回	2022～2024 ～第7回	2025～2027 ～第10回	2028～2023 ～第13回	2031～2033 ～第16回	2034～2036 ～第19回
実行委員長	伊勢原市	厚木市	川崎市	相模原市	茅ヶ崎市	横須賀市
副委員長	相模原市	茅ヶ崎市	横須賀市	伊勢原市	厚木市	川崎市
競技委員長	川崎市	相模原市	茅ヶ崎市	横須賀市	伊勢原市	厚木市
会計	茅ヶ崎市	横須賀市	伊勢原市	厚木市	川崎市	(横浜市)
議事録担当	横浜市 厚木市	伊勢原市 川崎市	厚木市 相模原市	川崎市 茅ヶ崎市	相模原市 横須賀市	茅ヶ崎市 伊勢原市
開会式 会場担当	横須賀市	伊勢原市	厚木市	川崎市	相模原市	茅ヶ崎市
閉会式 会場担当	厚木市	川崎市	相模原市	茅ヶ崎市	横須賀市	伊勢原市

輪番

1	2	3	4	5	6	7
伊勢原市	厚木市	川崎市	相模原市	茅ヶ崎市	横須賀市	(横浜市)